

館報

おおくま

— おもな内容 —

- 2面… 体力づくり研究の成果
- 3面… 産業文化祭
- 4面… おやじの権威
- 5面… 環境緑化コンクール・俳句
- 6面… 野馬追出陣の記 民話
- 7・8面… みんなの広場

発行編集 大熊町公民館  
印刷所 新栄社写真美術印刷



産業文化祭

産業文化祭

それは秋の風物詩でもある  
生け花展・書道展・絵画展…。  
産業文化祭が終ると  
冬将軍がやってくる  
木々の梢に残っている  
枯葉を鳴らす風の音も  
阿武隈の嶺々を流れる雲も  
急ぎ足に通り過ぎる旅人の姿も  
みんな冬だ

産業文化祭の庄巻は  
生け花展である  
三十点を越える作品は  
豪華だ まさに豪華だ  
女の美しさに一層調和する  
それは日本の美しさでもある

(写真は産業文化祭から)

# 文部省指定 体力づくり研究の成果

## 全国優良校として受賞

### 大熊中

本校は昭和五十一年から文部省の研究学校の指定を受けて、生徒の「体力づくり」について研究実践をすすめて参りました。

去る十一月二日三ヶ年の研究を公開いたしました。県内各学校の先生方をはじめ遠くは群馬県尾島中学校からもお出でいただき、多数の先生方をお迎えして午前中は生徒の「体力づくり」実践のようすや研究の発表を行ない、午後はお茶の水女子大学梅本教授の講演をお願いして盛大な研究の公開をいたしました。

講師の先生はじめご参会の先生方からは異口同音に校舎や環境の



優勝旗の数々が体力づくりの実績を物語る

立派さは勿論、生徒の真鍮な力強い活動ぶりに大変なおほめのことばをいただき、大熊中学校の歴史に残る立派な研究の公開ができたことを嬉しく思います。

「今の子どもは体格は大きくなったが力がない」。子どもの体力低下特に体格と体力のアンバランスやそれに伴う気力の欠陥等が大きく問題とされるようになって久しいが、本校にとっても当時統合中学校として建設途上にあつて、こうした問題は学校の大きな課題でもありました。こうした時期に体力・気力の養成をめざして努力し、大きな成果に到達できたことは、まことに時宜を得た教育への取り組みであったと思ひます。以下経過の一端として主なことがらについて述べて見たいと思ひます。

その第一は体育施設設備の充実であります。その状況は表1をご覧下さい。いかに町長さんをはじめ町ご当局的教育に対するご期待のほどがご理解いただけると思ひます。同時に歴代PTA会長さん・体育後援会長さんをはじめ役員・会員の方々の物心両面にわたるご協力に心から感謝申しあげます。

次いで大事なこと、この研究を通して生徒の体力は向上してきたかということであり、表2はわかり易くするために二年男子を昭和五十年の二年男子と比べたグラフですが、全学年とも同様な向上の結果がはつきりと出ています。指導以前の本校二年生は、垂直跳躍台昇降・五十米走・走幅とび・ボール投げ・けん垂・持久走の七種目が全国平均より劣っていたが今では全種目にわたつて全国平均より上まわり全体としてすばらしい向上となつております。

でございませう。

また、他校に比べて本校はどのように努力をしてきたかについて表3をご覧下さい。これは本校生徒が郡中体連大会においておさめた成績の一覧です。「優勝する」ということは、ほんとうに至難な容易でないこととてございませう。からだじゅう汗にまみれて、疲れても疲れてもへこたれず頑張りつづけてくれた生徒達の強い力と気力は勿論であります。それを励まし勇気づけながらこれだけの力を育てあげてくれた先生方の親身な指導と生徒たちへの愛情にただ頭の下がる思いであります。二九九

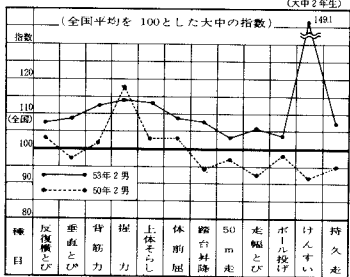
名の生徒たちが勝ちとつたこのすばらしい成果を高く評価してほしいと思ひます。

「おれたちだけ、どうして体力づくりやんだべ」。これはいつわらざる生徒達の最初の本音だったと思ひます。しかし、「中体連でこのうした成績に、そんな考えも一氣にふき飛んでしまった」。現在の生徒の真の喜びであろう。そして「：略：運動とは逆に勉強の方は他校に差をつけられるのではないか？。略：いや勉強だつてこの体力と忍耐力できつとこのりこえられると思う。：略：三年間の体力づくりは、将来必ず私たちの生活に大きなプラスとなつて出てくるであろう。：略：私たちは、こうした生徒たちの気持ちを大事にし

### 表1 体育関係施設・設備の状況

年月	事項	備考	年月	事項	備考
50・4	(実質総合)		51・10	ソフトボールバックネット完成	
51・2	体育館完成	1,359.45㎡	〃・11	プール完成	
〃	グラウンド整地完成		52・9	グラウンドサーキット完成	
〃・3	野球バックネット完成	寄贈田中建設KK	52・1	体育館サブコート完成	全天候型792㎡
〃・3	環境緑化完成		〃・6	低・高鉄棒完成	設置P作業
〃・3	体育室完成		〃	大雲梯完成	寄贈石井泉氏
〃	庭球コート完成		〃・11	校庭南側フェンス完成	166㎡
〃・4	(文部省体力づくり指定)				

### 表2 50年度との比較



### 連大会成績

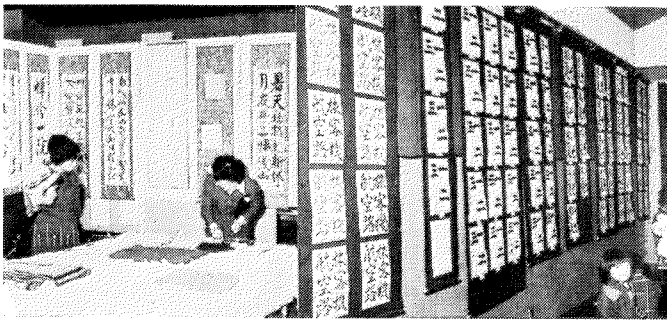
種目	昭50	昭51	昭52	昭53
卓球(女)	・	・	3位	準優勝
剣道(男)	・	・	・	・
〃(女)	・	・	3位	3位
陸上男子総合	・	・	優勝	準優勝
陸上女子総合	・	・	準優勝	優勝
陸上男女総合	3位	3位	優勝	準優勝
水泳男子総合	・	3位	準優勝	優勝
水泳女子総合	・	4位	優勝	優勝
水泳男女総合	7位	3位	優勝	優勝
駅伝	4位	3位	優勝	8位

てこれからも大熊中学校発展のために職員一同一体となつて精進をしたいと思つております。最後に今年度の学校保健体育全国研究会が前橋市において開催されますが、その開会式の席上本校が全国保健体育優良学校として文部省より表彰されることになりました。年ごとに本校の伝統が高まることをお喜び申し上げると共に心から皆様に感謝を申し上げる次第であります。なお、本校南側に一六六米の築堤を小畑隆氏に、その緑化を鎌田博栄氏にご奉仕いただき、大雲梯を特別製作寄贈いただいた石井泉氏に心から感謝を申しあげます。

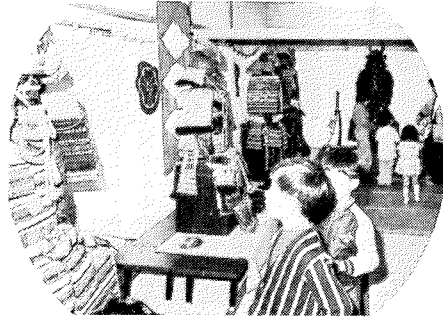
学校長 小野田宗郎

# 産業文化祭 書・画展などにぎわう

大熊町の産業文化祭は勤労感謝の日を中心に、十一月二十二日から二十四日まで、町体育館及び公民館において盛大に開催された。今年、従来開催していた農産物展、書道、絵画展、老人作品展のほか、生け花・手芸展・盆栽展・甲冑展等を各種団体の協力を得、一堂に開催したため、観覧者も例年になく多く、祭り気分も最高に盛り上がり、大好評を拍しました。尚、展示された作品の一部を写真で紹介いたします。



大人も子供も年毎に上達



初めて見る  
子供たちも「甲冑展」



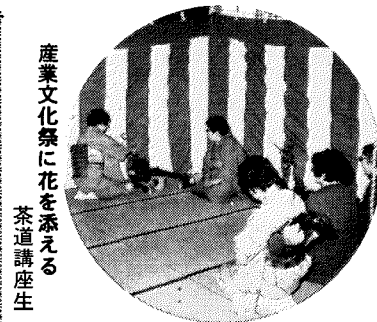
老人作品展

夏ともなれば涼しさを求め夜の散歩者がひとときわどくなる。それはズーツと昔の夜の静寂さに比べると、今は凄く変わりようだがしかし夜風に乗って流れる太鼓や笛の音の調べは何の変わりようもないのではないかと。私はお盆行事のなかで何故に盆踊りが楽しみの一つになり得るのか？これは「慈しみの行」ではないのか？と何回か自問自答を繰り返した末、この基調こそ先代古人が伝承してきたリズムカルなのだと思うようになったのです。郷土をもつ人々が年にたった一度、誰もが「慈しみの行」を念じます。これがこれほど微笑ましい光景はありません。このような背景があったせいかどうかは知らないが今年の夏の夜の慈しみの行は今なお私には余韻として残っている。

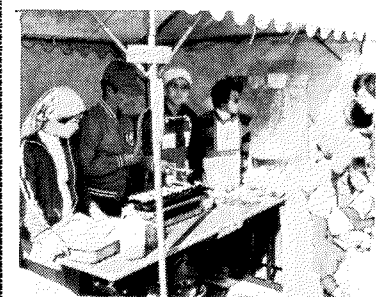
## 盆踊と諏訪太鼓

素朴な中に例えようのない調べをもつ「諏訪太鼓がそのリズムカクを取り戻した喜び」で、来年も再来年も夏の夜のひとときを民衆と共に喜び合えるかと思うと、これまたひとしおの念があります。今年はこの行事を一層盛りあげようとして盆唄の歌詞を募集したところたくさん作品が集まりました。お寄せいただいた作品の中から入選したものの一部を紹介し、町民各位からのご協力に対し感謝を申し上げます。

正調諏訪太鼓を守る会  
事務局長 大和田武夫  
佐藤 ふく子  
向うはち巻キリキリと締め  
父も子も打つ諏訪太鼓  
大和田 武夫  
諏訪の太鼓に浮かれて踊る  
野上恋しやなつかしや



産業文化祭に花を添える  
茶道講座生



人気を集めた わたあめ  
やきとり コーナー

表3 双葉郡中体

種目	昭50	昭51	昭52	昭53
野球	・	・	準優勝	3位
排球(男)	・	・	優勝	準優勝
"(女)	・	3位	優勝	優勝
軟式テニス(男)	・	3位	優勝	準優勝
"(女)	・	3位	・	準優勝
バドミントン(男)	準優勝	優勝	優勝	優勝
バドミントン(女)	・	3位	3位	優勝
バスケット(男)	優勝	3位	3位	優勝
"(女)	・	・	・	準優勝
卓球(男)	・	・	・	・

諏訪の森から流れる笛に  
そぞろ歩きもいそぎ足

常盤 貫一郎

あの娘かわいやしなよく踊る。

足のさばきは柳腰

空の星さえ逢瀬を求め

年に一度は逢いに来る

南 金谷

赤い夕日は三ツ森山に

笛や太鼓は諏訪の森

春はサクラの坂下ダムよ

秋はモチヂの恋の道

## お知らせ 誌吟講座

十二月から詩吟講座を開催したので希望者は公民館にお申込み下さい。

①月謝は千円程度

②週一回の指導

③詳細は開講当日みんで決定する。





# 環境緑化コンクール

## 熊町小学校が 県知事賞に輝く

新聞紙上・テレビ等で既に報道されておりますが、この度熊町小学校が環境緑化教育の成果を認められ県下で一校だけに与えられる「県知事賞」の荣誉に輝くことができました。

そこには、年度当初において子ども達に緑化思想を啓発させるためには、全職員、全児童による計画的な活動と、それを推進し進めようとする学校の方針を充分理解し惜しみない協力をした保護者各位、また過去に校庭整地・施設設備の造成に献身的に励んで下さった方々すべての総合力が実ったものと思います。

ここで今年の活動の様子を紹介することにします。

四月に「小学校向きの環境を子どもと共に構成するにはどうすれば良いか。」を学校・保護者一体となつて考えた末、草花の植栽をすることが子ども達の活動を盛り上げることであるとの結論に達し、五月一日PTA奉仕作業により歩道両側に幅一メートルの花だんを造成し歩道両側を花で飾り子ども達の心をなごませてやることにしました。



花壇の手入れをする熊小の子どもたち(上)  
みんなの努力が校舎前に見事に開花(下)

以来学校では、歩道両側にカナナ、二百二十株、その脇に約七百本の草花、学級園には学年の計画によって各種の草花、観察園にも学年の理科教材に合った観察用植物を植え観察学習を進め、また各施設の管理については一年から全部の子どもによる雑草取り、草花への灌水、学校で手におえない面はPTAの奉仕作業と汗を流してがんばりました。

特に今年の夏は日照り続きで花を絶やさないうために一日も欠かさなかつた四年以上の当番の子ども達と先生方が、猛暑の中で灌水と除草に努力していたあの姿には敬服の一言につきる思いで一杯です。

この県下一の環境の学校で勉強出来る子ども達は幸せであると共に誇りでもあり、この美しい学び舎での勉強と運動に大いに奮起をうながしながら、更に心豊かな子どもの育成に共々力を合わせて励んで行きます。

町内のソフトボール愛好者を対象とした、第一回大熊町長杯ソフトボール大会は、去る十一月五日大熊中学校庭においてにぎやかに開催された。

当日は、絶好のスポーツ日和に恵まれ、町内の職場等から十三チーム、二百名の選手が参加、熱戦を展開し、晩秋の一日を楽しめました。

### 第一回ソフトボール大会 優勝は大熊ヤンキース

- た。なお成績は次の通りです。
- 【優勝】大熊ヤンキース (監督 太田 稔)
  - 【準優勝】福宝建設 (監督 吉原朝男)
  - 【三位】クリナップタクシー (監督 阿部猛男)
  - 【三位】原子力運送 (監督 田主 守)



喜びをかぐしきれない子供たち

### 俳句

佐久間 信子  
かなかなの華げるなり午後七時  
ガス台を磨きにみかく大暑かな  
木村 蓉子  
姉見舞う日を重ねたる酷暑かな  
久々の雨に紫紺の茄子光る  
永井 善子  
雨音と虫の音をきく朝寝かな  
やうやくに慈雨の白菜蒔き終へり  
一戸 多磨子  
日の丸や青年の家緑濃き  
磐梯山スキーリフトの万緑す  
鎌田 光子  
北の旅終えて夕餉の露ゆでむ  
花曇背負ひたる子も温もりぬ  
猪井 静枝  
乳母車合飲の木蔭に静まりぬ  
郭公と声交はしをり孫二人  
結城 千ヨ  
雷鳴や降り出すまでを忙しき  
孫寝顔蚊取線香漂はせ  
渡辺 博之  
五月雨のうたかた速し雄物川  
傾く陽腰の痛さや田草採  
渡辺 政美  
しばらくは雲の明るさ無月かな  
ゆれやすき柳に秋の立ちにけり  
常盤 貫一郎  
古稀の皺黒く日焼けて雨こいし  
雨待つや空雷となり遠く去る  
高野 昭二  
雪虫飛ぶよと盲の妻に聞かせけり  
鮭梁に同年兵の居て老ゆる  
酒にじむ莫産の古さや鮭番屋

# 野馬追出陣の記

野馬追の起源を按ずるに今を去る一千有余年、承平年間相馬氏の祖先平将門が関東の豪族として下総国に居住の時「平穩の世にあっては乱世の時を忘れず」と言われ

て小金ヶ原に馬を放牧し騎士を会してこれを駆逐し騎馬戦の演練を試みたという故事が始まる。

相馬氏が封を奥洲に移して後も雲雀ヶ原に馬を放しこの行事を行うこと連綿、凡そ六百年を以て明治に及ぶ。

慶應後明治の初期に県社太田、小高、相馬の三神社の行事として復活し今日に至っていると云われる。思ふに相馬藩は僅かに六万石の小藩であり、伊達その他

の間に介在しよくその領土を保つためには常に武を練ることに重きをおいたのであろう。この伝統ある歴史を後世に伝えようとするに因んで大熊町騎馬会からも八騎出場した。今年

祭が国の重要民俗無形文化財に指定されて最初の野馬追祭でもあった。

初日七月二十三日、役場前広場に陣羽織姿で勢揃い駅前通りを行列、佐々木木工裏より出発(自動車輸送)小高町本通りを行列一路夏草繁る雲雀ヶ原へ……………宵乗り競馬に参加初日を終る。

翌二十四日、三社合同の行列進発、午前十時出発点新田川原、到着点雲雀ヶ原祭場地、騎馬武者の服装全軍悉く甲冑姿、総大将藩主相馬和胤、緋色の母衣を背負い威風堂々全軍の指揮に当る。一般騎馬は何れも大形の指旗をさし行列に加わる。沿道は数万の観衆で埋め尽くされその中を陣螺、陣太鼓が鳴り響き駒の嘶きも勇ましく豪華けんらんたる戦国絵巻が展開される。昼食後直ちに甲冑競馬が始まる。全ては陣螺の合図、軍者の指揮によって動く。終れば時を移さず神旗争奪戦。狼煙(のろし)が間断なく打ち上げられると赤、青、黄の長旗が風のまにまに舞い

おりの。数百の甲冑騎馬が群れな

して右往、左往と駆け巡る。指旗はひらめき馬は嘶く。大地をゆるがす雄叫びに広い野原は修羅場と化し壮絶また快絶。本陣山からは数万の観衆がやんやの拍手喝采。興奮さめやらぬ雲雀ヶ原をあとに町の騎馬隊は一路凱旋の途についた。やがて戦国武将の姿を一目見ようとつめかけた観衆数百名の埋める大野駅前到着。大野小学校スポーツ少年団育成会(会長結城松雄)主催による団員一〇〇名の「相馬流れ山」の手踊りを先頭に堂々の行進、役場前広場において、ニ野馬追神旗争奪戦を展開、万雷の拍手を浴び真夏の夕陽を背に家路へ急いだ。

最後にこの行事に深いご理解とご配慮をいただいた町ご当局、関係各位に深く敬意を表します。

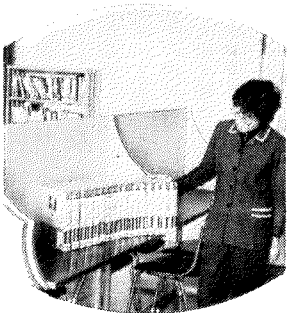
大熊町騎馬会事務局長 菅野祐一



## 御礼

公民館では、新刊図書を購入したり、県立の図書館よりたくさん

室にお役立ていただけるならという事で、たくさん図書を寄贈していただきました。厚く御礼申し上げます。なお、お贈りいただきました図書は、少年少女世界名作集(ホメロス物語、シエクスピア物語、ロビンフットの冒険等)十八巻ですのでご利用下さい。



## 昌玄塚

昌玄坊の話です。

毎日毎日天気がつづいて雨はちっとも降りません。高台にある熊町の井戸には一滴の水もなくなりました。人々は熊川の底をチヨロチヨロ流れる水をくんできてごはんをたいていました。

たんぼにかける水もないので、稲は枯れてしまいます。百姓たちはどうすることもできません。ある日、熊村、熊川村の人々がかじや川原に集って何かよい方法はないかと相談しました。誰も名案がありません。部落の長老がい

ました。「みな衆、ご存じの通りこの日では米は一粒もとれんだろう。困った時の神だのみといわれ

るかも知れんが、これからみんな雨ごいをしてはどうだろう」と話しかけました。みんなは賛成しました。

早速用意をして一晩中お祈りを行いました。空はさっぱり曇ってきません。あしたの朝になっても一滴の雨も降ってきません。その朝、浜海道を北に向って歩いて一人の旅僧がいました。昌言坊という坊さんでした。この話を聞いて大へん気の毒に思いみんなに話しました。「私にも手伝わせてください。私は全智全能をしばって雨ごいを

します。皆さんの悲しみをみて通りすぎるわけには参りません。」みんなは喜びました。そしてその晩またかじや川原に集って雨ごいのお祈りをしました。

昌玄坊は高らかに天にとどけよとばかり雨乞いのお経をあげました。しかし空は晴れ渡っています。人々は坊主にだまされたなと思っ

ている中に、日隠山の方にいなびかりが見えました。そして雷の音もきこえてきました。人々は霊驗かたかなりとみんな

なで天にとどけよとばかりにお祈りをつづけました。やがて雨が降り出し、熊川にはどろ水が流れてきました。人々は一人としてひきあげようとはしません。そのすさまじい雷鳴雷雨の中でお祈りがつづけられました。

やがて昌玄坊の合図でみんなは家に帰りました。どぶねずみのようにぬれていてもうれしきで一杯でした。

あくる日、昌玄坊はみんなに感謝されながら北の方に旅たちました。村人たちに請われるままに残っていた一冊のお経を葬って築いた塚があります。昌玄塚といっ





妙見神社の清掃に励むクラブ員

# 思いやりの心

## 自動車・自転車・人…

先日いつものバス停でバスを待っていた。少し早めにいったので何とはなしに通りをながめていた。ものの十分もたった頃から段々と車の数が多くなりアツというまに長い行列が出来てしまった。これが噂にきく通勤ラッシュかと興味深くみていた。車の種類も様々でたまに七・八人乗ったマイクロバスも来るがほとんどが普通車又はそれ以上のデラックスカーで、我が家の唯一の足である軽自動車の仲間などは珍しい。軽でさえも四



人は乗れるのに、どの車もゆつたりと一人のりである。一人に車一台、これでは車の行列が出来るとも当然だが、それにはそれなりの理由があるのだろうし、などととりとめもない事を考えていると、私の前を自転車にのった小学生が通った。気になって見ているとそこは信号機のない丁字路なので、次々と続いてくる自動車のため横切ることが出来ないでじっと止まっている。ちよっとの合間をみて出ようとするとスッと車が入っ

# 楽しく集う

## 大和久老人クラブ

大和久老人クラブ(会長 吉岡庄之助さん外六十二名)では、会員相互の親睦を図りながら、地域社会の状況を理解するため、講師を招いて、講話を聞いたり、現地研修をするなど楽しい団体活動を進めている。特に、定例会として会員が部落公民館に集り、座談会やレクリエーションを楽しんでおり、お年寄りの心のよりどころとなっている。また、老人クラブでは公民館に集るたびにとなりにあ

てくる。何回かそんな事を繰返しているのを見かねて何とかしてあげようと一歩出かけた時、一台の車が止まって、小学生を通してくれた。ホッとすると同時に他人事ならずうれしかった。あの子どもどうにか朝自習の時間に間に合ったろう。その間五分位もあつたと思うが、お互い時間で行動をする者同志大人も子供も同じ思いである。五分間もじっと待っている子供、一分足らずの時間をさいて通してあげる思いやりの心も嬉しい。



(一主婦)

# 春への準備 チューリップ

春の花の王者はチューリップであろう。子供にも大人にも大へん喜ばれ。しかもつくり方はごく簡単で誰にでもできる。土をたがやして金肥、堆肥を入れて球根を植え、土は直径の二〜三倍かける。時期は十月から十一月中旬ごろまで、都合で十二月になって植えても花は同じころ咲く。又肥料は入れなくともその年は花が咲く。非常に寒さに強いので、寒さで

枯れることはない。乾燥には弱いので、時々水をかけてやるか、マルチをしてやる。植えたら移植は絶対しない。移植すると花は咲かない。鉢植えしたい人は鉢ごと土中へうずめておき、来春鉢を掘上げる。球根は店で買うと一コ七〇円ぐらいはする。しかし大量(百コ以上)に買うと安く入手できる。花を見て花を欲しがってもおそい。半年前に準備しないと花をみることはできないのだ。

(チューリップ愛好者)



# 八幡神社に 鳥居を奉納

大川原に住む渡辺セイさん(八十三才)はこの程、部落内にある八幡神社に大鳥居を奉納してくれました。セイさんは十二人の子供がおりますが、皆んな立派に成長し、遠く離れているので、一人で余生を暮らしている。戦争中は多くの子供をかかえ、苦しい日もあつたと

か、ただ子供達の成長を願いつつ朝夕八幡神社に祈願していたそうです。その当時、神社には古い鳥居があつたが、老朽化が著しく最近ではなくなつておりました。セイさんはお参りするたびに八幡神社に鳥居がないのは、実になさけない戦争中あれ程世話になつていた神社であるのと言ふことで、この御礼として鳥居を奉納したいと、この程部落の老人クラブ会長をやつてある私のところへ申し入れがありました。老人クラブでは早速役員会を開いて皆んなでお世話し、この程立派に建立したものであります。

大川原老人クラブ会長 出沢五郎

火の用心

# 全国秋の火災予防運動実施中

11月26日〜12月2日



# 土づくりにこそ

## 豊作への道

### 稲作反省

秋の取入れも終り一段落した今、私達農民は複雑な心境である。豊作だと騒いでいる割に実際には思った程の収量は上っていないようだ。気候的にも豊作型であったのに期待した程ではなかった。又大熊町の米は一般に品質が良くないと云われている。これは他町村と比較すると、はつきり差があることがわかる。これ等

ここ数年間農民は他企業の雇用労働者として働き、家に残った婦人とか老人が農作業をしているのが実情である。また家畜を持たぬ無畜農家が一般的となり農業の基盤

である土からの崩壊が来ているのではないだろうか。農業は土に始まり土に終るのではないか、それなのに現在の農民は目に見える部分だけにあまりにも気を取られ過ぎると思う。目に見える葉とか茎が赤くなつた黒くなつたとか虫や病気にかかった等騒ぐことはあっても、目に見えない部分の土や根に注意している人は少ないと思う。私自身がそうであり今まで本気になつてそれ等に取り組んだことはなかった。

本年のような豊作型の天候において収量品質が向上しなかったのは、単に栽培方法の上手下手だけではないと思う。むしろ土壌が老化衰退していたことが最大の理由であつたと思う。来年また数年先の農業を安定した、自分自身の農

業にすることも土づくりに最も大切なことだと思ふ。一度老朽化した土壌は簡単に回復するものではない。だからこそ、老朽化させないために毎年毎年の積み重ねが大切であり努力が必要であると思う。今後私達農民の周囲の環境は益々農業に不利にならうとも有利な環境にはならないだろう。私達がこれからの社会の中で農業を

### 女子バスケットで活躍

#### 駅前鈴木さん



年を追う毎に世界のスポーツは進歩し、益々さかんになっていく。その中で現在、女子バスケットボール全日本チームに所属し、大

活躍している人がいる。この人は大野駅前の鈴木義雄さんの長女で日体大四年生の鈴木かの子さんである。浪江高校を卒業後、日体大に入りバスケットボールを続けており、国内大会等に数多く参加、その活躍ぶりと実績がかわれ、全日本チームに選ばれたものである。現在まで強豪ソ連チームや、

活躍している人がいる。この人は大野駅前の鈴木義雄さんの長女で日体大四年生の鈴木かの子さんである。浪江高校を卒業後、日体大に入りバスケットボールを続けており、国内大会等に数多く参加、その活躍ぶりと実績がかわれ、全日本チームに選ばれたものである。現在まで強豪ソ連チームや、

アメリカ、中国等、各国の選手と白熱した試合が行われており、去る七月には、ブルガリヤで開催されたヨーロッパ九ヶ国バスケットボール大会にも参加準優勝と云う輝かしい成績をおさめている。又来る十二月には、バンコックで開催される第八回アジア競技大会にも参加が決定されている。

特に父親の義雄さんは、二年後にモスクワで開催される、オリンピック大会にもバスケットボール選手として内定されていると語っており、我が町にとつても、ほんとうに名誉なことであり、今後の活躍を期待すると共に優秀の美をおさめられることを祈らずにはいられない。

### 編集後記

公民館の広い庭にも雪虫が飛びかき僅かに残る樹々の葉を鳴らす風の音もなにかしらもの淋しく冬の音もなにかしらもの淋しく冬のおとずれを告げてくれる。いま館報一〇二号の編集を終えた机の上のりんどうの花も……

最近小中学生の自殺がめっきり増えてきたように思われる。「おやじの権威」の稿を読ませていただき感銘いたしました。体の丈夫な子供を育てると共に「心の丈夫な子供」を育てることに心がけたものである。それには「愛の鞭」も必要ではなからうか。

### 人生とは

の花、桔梗、おみなえし、萩など、又人知れず砂漠の真只中に華麗に咲くサボテンの花々。しかもそれはたった一日で終わるものもある

こだまする郭公の澄んだ声、絵でそれなりに遊びたわむれているようではあるが、やはり楽しさにつけ悲しさにつけ必死に生きていく姿でしょう。短かい中に何と名言であり何と味わいの深い言葉であると思ひます。

う。苦勞があつてもこの耕作には甘露な果実があります。「忍耐は苦しいがその実は甘い。」とは野口英世の名句で私の大好きな言葉です。美しい老後を迎えてこそ人生の花ではないでしょうか。世阿弥「花伝書」が云っているように人は苦しみ忍耐をふまえてお釈迦様のお言のようにならなければならぬのでは

特別な信仰を持っているわけではありませんが、仏教や神教のお話を聞くのは楽しい。お釈迦様のお話で、ある日その弟子が「人間はなぜ生きねばならないのですか？」とききますと

お釈迦様は即座に「遊びたわぶれる為にですよ。」と仰せられた。私は、それは玉のように美しく意味深い言葉と思ひました。山谷に芳香を放つて咲く白百合

と云う。春は花から花へ飛び交う白蝶夏は姿も大きな黒揚羽、秋には又小さな黄蝶と楽しそうに舞い遊ぶ。早春の頃生きた喜びを囁くる鶯、たくましい揚雲雀、山野に

大地を耕すだけでなく、自分自身をも耕さなければならぬでしょう。夫沢 佐久間信子

